

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	東濃看護専門学校
設置者名	東濃西部広域行政事務組合

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
看護専門課程	看護学科（2年課程）	夜・通信	1461 時間	240 時間	
		夜・通信			
		夜・通信			
		夜・通信			
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

東濃看護専門学校ホームページで公開
-------------------

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第 2 号の 2-②【(2)-②外部の意見を反映することができる組織への外部人材の複数配置】

※ 様式第 2 号の 2-①に掲げる法人以外の設置者（公益財団法人、公益社団法人、医療法人、社会福祉法人、独立行政法人、個人等）は、この様式を用いること。

学校名	東濃看護専門学校
設置者名	東濃西部広域行政事務組合

1. 大学等の教育について外部人材の意見を反映することができる組織

名称	東濃看護専門学校運営協議会
役割	東濃看護専門学校の設置及び管理に関する条例第 11 条に基づき設置され、管理者の諮問に応じ、学校の運営に関することを審議する。 学識経験者 4 人。 予算・決算、学生募集要項、学則等の変更などを審議する。

2. 外部人材である構成員の一覧表

前職又は現職	任期	備考（学校と関連する経歴等）
多治見市民病院病院長	2 年	学識経験者
東濃厚生病院病院長代行	2 年	学識経験者
土岐市立総合病院病院長	2 年	学識経験者
東濃保健所長	2 年	学識経験者
(備考)		

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	東濃看護専門学校
設置者名	東濃西部広域行政事務組合

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>全授業科目について、学習のねらい、授業回数、授業時間、授業内容、授業形態(方法)、評価方法、テキストを記載した授業計画を作成している。評価の基準については、同一のものとしているため、記載していない。前年度2月中に授業科目の担当教員が作成し、教務会議での討議をふまえて決定する。現在は冊子としてまとめ、年度初めに学生および教員へ配布している。シラバスは事務室で閲覧可能。</p>	
授業計画書の公表方法	学生及び教員へ配布。事務室で閲覧可能。
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>科目試験は、筆記試験、口頭試験、実技試験及びレポート等で、また実習評価は、実習内容、実習態度及び実習記録等により行う。なお、実習態度については、判定基準をあらかじめ学生に提示している。</p> <p>科目試験、実習評価ともに点数をもって表し、100点満点の60点以上を合格としている。合格の評価を受けた者に対して単位の認定をしている。</p>	

<p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p> <p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>GPA等の客観的指標は使っていないが、授業科目ごとの平均点を算出し、学生の順位を把握し、学生に公表している。</p>	
<p>客観的な指標の 算出方法の公表方法</p>	<p>学生に紙で渡している。</p>
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p> <p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>教育理念に基づき、各学年の卒業目標を掲げるとともに、卒業は登校すべき日数の3分の2以上登校し、かつ本校が定める全ての授業科目の単位習得の認定を受けた者に対して認定すると定めている。</p> <p>卒業の判定は運営委員会で討議した上で、学校長が認定している。 (東濃看護専門学校学則第19条)</p>	
<p>卒業の認定に関する 方針の公表方法</p>	<p>東濃西部広域行政事務組合ホームページで学則を公表している。</p>

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	東濃看護専門学校
設置者名	東濃西部広域行政事務組合

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	<a href="http://tono-seibu.org/zaisei/index.html">http://tono-seibu.org/zaisei/index.html</a>
収支計算書又は損益計算書	<a href="http://tono-seibu.org/zaisei/index.html">http://tono-seibu.org/zaisei/index.html</a>
財産目録	<a href="http://tono-seibu.org/zaisei/index.html">http://tono-seibu.org/zaisei/index.html</a>
事業報告書	<a href="http://tono-seibu.org/zaisei/index.html">http://tono-seibu.org/zaisei/index.html</a>
監事による監査報告（書）	<a href="http://tono-seibu.org/zaisei/index.html">http://tono-seibu.org/zaisei/index.html</a>

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
		看護専門課程	看護学科（2年課程）	看護師			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼間 定時 制	2190 時間 単位時間/単位	994 時間	123 時間	720 時間	353 時間	時間
			単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
120人		86人	0人	10人	0人	10人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
<p>（概要）</p> <p>全授業科目について、学習のねらい、授業回数、授業時間、授業内容、授業形態（方法）、評価方法、テキストを記載した授業計画を作成している。評価の基準については、同一のものとしているため、記載していない。</p> <p>前年度2月中に授業科目の担当教員が作成し、教務会議での討議をふまえて決定する。現在は冊子としGPA等の客観的指標は使っていないが、授業科目ごとの平均点を算出し、学生の順位を把握し、学生に公表してまとめ、年度初めに学生および教員へ配布している。シラバスは事務室で閲覧可能。</p>
成績評価の基準・方法
<p>（概要）</p> <p>GPA等の客観的指標は使っていないが、授業科目ごとの平均点を算出し、学生の順位を把握し、学生に公表している。</p>

卒業・進級の認定基準
<p>(概要)</p> <p>教育理念に基づき、各学年の卒業目標を掲げるとともに、卒業は登校すべき日数の3分の2以上登校し、かつ本校が定める全ての授業科目の単位習得の認定を受けた者に対して認定すると定めている。</p> <p>卒業の判定は運営委員会で討議した上で、学校長が認定している。</p> <p>(東濃看護専門学校学則第19条)</p>
学修支援等
<p>(概要)</p> <p>東濃西部看護師修学資金貸付制度</p> <p>東濃西部広域行政事務組合では、東濃看護専門学校へ入学する学生、在学する学生を対象に修学資金月額3万円を貸し付けます。</p> <p>貸付けを受け、看護師免許取得後、遅滞なく圏域内の病院等に一定期間勤務し続けると返還が免除されます。</p>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
27人 (100%)	0人 (0%)	27人 (100%)	0人 (0%)
(主な就職、業界等) 病院			
(就職指導内容)			
(主な学修成果(資格・検定等)) 看護師資格			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
86人	0人	0%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組)		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他 (施設設備整備費)	備考 (任意記載事項)
看護学科	100,000 円	360,000 円	200,000 円	教材・実習費 (年間) 60,000 円
	円	円	円	
	円	円	円	
	円	円	円	
修学支援 (任意記載事項)				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) <a href="http://tono-seibu.org/to-no-n.c/disclosure/gakkouhyouka/gakkouhyouka.html">http://tono-seibu.org/to-no-n.c/disclosure/gakkouhyouka/gakkouhyouka.html</a>		
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制) 当校の設立母体である多治見市、瑞浪市、土岐市を代表する病院の看護部教育担当者を委員とし、学校自己評価の客観性などを高める。		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
多治見市民病院	2年	看護部教育担当者
東濃厚生病院	2年	看護部教育担当者
土岐市立総合病院	2年	看護部教育担当者
学校関係者評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 学校関係者評価の結果をHPで公開 <a href="http://tono-seibu.org/to-no-n.c/disclosure/gakkouhyouka/gakkouhyouka.html">http://tono-seibu.org/to-no-n.c/disclosure/gakkouhyouka/gakkouhyouka.html</a>		
第三者による学校評価 (任意記載事項)		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) <a href="http://tono-seibu.org/to-no-n.c/">http://tono-seibu.org/to-no-n.c/</a>
--